

平成 27 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	西児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市鏡島南2丁目8番40号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募	<input type="checkbox"/> 非公募	
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料	<input type="checkbox"/> 利用料金	<input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし
指定管理委託料(年額)	14,919,428円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造3階建のうち1階の一部 ◇敷地面積:3,604.32㎡ ◇延床面積:468.22㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、集会室、おもちゃ図書館、静養室兼相談室、事務室、駐車場(西部体育館駐車場と共有) ※岐阜市西部体育館との合築		

●利用状況

		H27下半年	H27上半年	H26 下半年	H26 上半年	H25 下半年
利用者数 (単位:人)	来館者数	13,566	16,136	13,608	15,480	13,209
	移動児童館利用者数	486	1,300	936	1,056	444
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	11	11	12	8	10
	開館日数(単位:日)	151	156	151	156	151

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画通り実施。 ②所長(常勤)、常勤職員2人(児童厚生員は所長を含め3人)。 ③児童センターのおたより「あそびっこ」、乳幼児センター便り「すくすく」の発行・配布、中日新聞地域ブロック紙「どまんなか」に掲載、児童館ホームページ掲載、医院等へのポスター掲示依頼、センターしおりにて広報。ふりあネットへの登録。 ④苦情等には随時対応し回答。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、②、③適切に実施。 ③利用者不在時の消灯・事務所内の常時消灯等、節約・節電に努めた。地域ボランティアにリサイクル用品の協力依頼を行った。 ④ボランティアでのリサイクル可能な用紙、段ボール布の提供の協力依頼、廃材等の活用。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①、②法人本部と協力・連携し実施。屋外遊具の修繕を岐阜市に依頼。おもちゃ病院を活用。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練の実施、災害や事故等が起こった場合は指定管理者並びに市へ報告。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成28年2月23日～28日に来館者及び幼児クラブ参加の保護者にアンケートを無記名で実施。 回答者数 来館者アンケート 83人(女性74人、男性7人、無記名2人)(回収率100%) 幼児クラブ参加者アンケート 76人(回収率100%)
利用者アンケートの実施結果	○西の幼児クラブ(児童センター主催)を何で知りましたか？ センターに遊びに来ていて26人、友人からの紹介32人、インターネット18人 ○どの幼児クラブに参加しましたか？ ありんこクラブ29人、ひよこクラブ5人、こあらクラブ23人、ぱんだクラブ23人、14人、パパさんクラブ6人、ころちゃんクラブ、はい・たっちクラブ13人 ○お子さんにとって幼児クラブはどうでしたか？ 良かった70人、まあまあ良かった6人 ○お母さんにとって幼児クラブはどうでしたか？ 良かった72人、まあまあ良かった4人 ○職員の接し方はどうでしたか？ 良かった69人、まあまあ良かった7人 ○幼児クラブに参加して良いと思った点は何ですか？ いろいろ自由参加のクラブがあってよい。体操・読み聞かせ・主活動とさまざまな内容があってよい。家ではできない体験がいろいろできて楽しめた。子供の知らなかった一面が見えた。
利用者からの要望・苦情と対処・改善	要望⇒回答 ○来館者アンケートより ・子どもさんから目を離して散らかし放題、保護者は漫画の本を読んでいるのが気になりました。 ⇒皆さんに、気持ちよく利用していただけるように、職員も、声掛けをしていきます。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>□利用者(母親等)の資格・特技の発掘の継続及び妊婦を交えたサロン等の開催 子育てに関する資格・特技を有する利用者(母親等)を掲示又は口コミ等で募集を行った。結果、前期から継続で、リミック(3回)、音楽教室(4回)、スキンシップタイム(2回)が実施できた。更に今期からは、新たに中国、韓国等の簡単クッキング(3回)、フラワーアレンジメント(1回)、エアロビクス(1回)、ミュージカル公演(1回)を実施することができた。利用者には好評であった。</p> <p>□児童クラブの継続実施 工作クラブ(10人)は、簡単な資材を活用して、常に新しい作品(ホバークラフト、ポン鉄砲、じゃんけんぷー、プラバン等)を制作し、又、今年度より手芸クラブ(10人)の活動を取り入れ作りたいたいものを出し合いながら(マフラー、針山、カード、マスコット、布袋等)の製作活動を行うなど小学校低学年を中心に毎回期待して喜んで参加してくれた。</p>
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<p>□昨年度に続き、他の施設での取組みは参考になる事例が多いことや情報交換の場となるので今年度も引き続き積極的に導入している。</p> <p>□利用者の要望を聞いたり、インターネットの情報を活用して新しい取組みも積極的に取り入れた。</p> <p>□駐車場不足に関しては土、日曜日は地域の会社の駐車場をお借りしたり、児童センター内にも止められるよう配慮することで解消している。</p>
今後の取組み	<p>□ 安心・安全な施設として管理運営していくために、遊具、施設の点検を施行し、事故防止に万全を尽くしていく。又、遊具、玩具等の消毒を定期的に行い衛生面での管理を徹底していく。</p> <p>□ 利用者(母親等)が有している資格・特技を発掘し、その能力を活かすことのできる講座等(子育てに関するもの)を企画し、利用者増にも繋げていく。</p>

●所管課の意見

<p>センター広報紙を発行(あそびっこ年13回、すくすく年6回)し、担当校区の小学校に配布、ホームページへの掲載のほか、公民館等へのポスター掲示、ブログや中日新聞地域ブロック紙「どまんなか」において活動内容を紹介(ブログはリアルタイムで更新)するなど様々な情報提供を行っている。</p> <p>今期も引き続き利用者への呼びかけや口コミにより資格や特技を持った方をお願いして新たな講座を実施した。今期は新たに外国人の利用者による中国や韓国の簡単クッキングや利用者が入団している市民劇団によるミュージカル公演等を行った。ミュージカル公演については、中日新聞地域ブロック紙「どまんなか」において掲載された。</p> <p>岐阜市社会福祉協議会を通じ、高齢者ボランティアの斡旋を受けるとともに、NPO法人ICDS(ぎふさぼ)から延べ10人の発達障害のある若者をボランティアで受け入れ、子どもと遊んだり、イベントへの協力や掃除を行うなど地域との交流とともに、ボランティアの育成にも取り組んだ。</p> <p>地域の小・中・高校からなる協議会(五校連絡協議会)に参加し、地域の事故や事件を話し合うことにより情報交流するとともに地域との連携を深めた。</p> <p>職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>児童センターの利用者にただ来てもらうだけでなく、特技を披露できる場を用意していることについて、地域に根差している点でも良い点である。</p> <p>また、高齢者及び障がい者ボランティアを積極的に受け入れる取組みについて評価でき、今後も継続していただきたい。</p> <p>児童センターを利用する母親に対し定期的に利用者アンケートを行っているが、今後は児童にもアンケート等により意見を聞くなど要望を分析し、満足度向上、利用促進に努めていただきたい。</p> <p>管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
--